

令和元年度 山形県地域年金展開事業 取組結果報告書

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

山形年金事務所
(山形県代表年金事務所)

1	地域連携事業	2頁
2	年金セミナー事業	7頁
3	地域相談事業	10頁
4	年金委員活動支援事業	14頁
5	「ねんきん月間」「年金の日」の取組	18頁
6	「わたしと年金」エッセイ	19頁
7	第11回山形県年金ポスターコンクール	19頁
8	山形県地域年金事業運営調整会議	20頁
9	ねんきんネットの利用促進	24頁

1 地域連携事業

(1) 年金制度説明会の開催及び研修会等への講師派遣状況

年金制度の周知を図るため、年金制度説明会の開催や各種機関・団体、企業が主催する研修会等に講師を派遣しました。

事務所	企業・その他		自治体・ 公的機関等		社会保険 労務士会		社会保険協会		年金協会 連合会		合計		年間 計画
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数
山 形	10回	508名	3回	55名	1回	35名	3回	296名	(2回)	(172名)	17回	894名	15回
鶴 岡	2回	273名	4回	84名	1回	35名	3回	204名	(2回)	(102名)	10回	596名	10回
米 沢	7回	198名	—	—	—	—	3回	170名	(2回)	(104名)	10回	368名	12回
新 庄	2回	102名	—	—	—	—	2回	48名	(1回)	(13名)	4回	150名	6回
寒河江	5回	280名	—	—	—	—	3回	142名	(2回)	(92名)	8回	422名	7回
元年度末 合計	26回	1,361名	7回	139名	2回	70名	14回	860名	(9回)	(483名)	49回	2,430名	50回
(参考) 30年 度末合計	20回	3,196名	5回	114名	5回	151名	16回	938名	(2回)	(50名)	48回	4,449名	47回

※年金協会連合会の()については、社会保険協会と共催で開催している年金説明会について、再掲数として掲載しております。

(2) 市町村担当者との打合せ等状況

年金事業の円滑な運営・推進のためには市町村との連携が不可欠であることから、各年金事務所において、管轄市町村の担当職員との打合せや研修会を行うとともに、全市町村の新任担当職員を対象とした事務研修会を開催しました。また、制度周知・啓発のため、市町村向け情報誌「かけはし」を提供しました。各種打合せの際には、「年金生活者支援給付金制度」等の法改正にかかる事務処理や「年金相談予約制」について説明しました。

事務所	管内市町村		県全体		連携	合計		年間計画
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	回数	参加者数	回数
山形	2回	10名	1回	30名	8回	11回	40名	10回
鶴岡	1回	14名	—	—	5回	6回	14名	10回
米沢	2回	18名	—	—	5回	7回	18名	10回
新庄	2回	24名	—	—	7回	9回	24名	10回
寒河江	2回	12名	—	—	6回	8回	12名	10回
元年度末 合計	9回	78名	1回	30名	31回	41回	108名	50回
(参考) 30年度末 合計	11回	104名	2回	79名	40回	53回	183名	50回

(3) 関係機関・関係団体との打合せ等状況

年金制度の周知・啓発事業を推進するため、関係機関、関係団体との打合せ会等は、昨年度を上回る開催数となりました。また、チラシの設置やポスターの掲示を依頼しました。
主な取組は次のとおりです。

- ①山形県社会保険協会と連絡協議会を開催し、年金制度研修会等への講師派遣や広報誌「社会保険やまがた」に記事を提供するなど連携を図りました。
- ②山形県社会保険労務士会と業務連絡会議を開催し、年金相談窓口等の運営業務委託に関する調整や厚生年金適用・調査事務にかかる打合せを行いました。
- ③全国健康保険協会山形支部と連絡会議を開催し、年金委員・健康保険委員功労者表彰伝達式の開催や年金委員・健康保険委員の委嘱拡大勧奨等の取組みについて連携を図りました。
- ④商工会議所、事業所等へ、「年金生活者支援給付金制度」のリーフレットやポスター、「ねんきん月間」のチラシや「年金の日」のポスター掲示等協力を依頼しました。

事務所	社会保険協会	年金協会連合会	社会保険労務士会	協会けんぽ	運営調整会議	官公署	その他(上記④の内容)	合計	年間計画
	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数
山形	15回	3回	15回	9回	2回	9回	8回	61回	40回
鶴岡	2回	3回	—	—	—	2回	18回	25回	20回
米沢	3回	1回	—	—	—	—	4回	8回	8回
新庄	2回	1回	—	—	—	—	11回	14回	8回
寒河江	2回	1回	—	—	—	5回	3回	11回	8回
元年度末合計	24回	9回	15回	9回	2回	16回	44回	119回	84回
(参考) 30年度末合計	14回	4回	16回	8回	2回	18回	23回	85回	29回

(4) 地域型年金委員との連絡会等の開催状況

地域住民に対して、公的年金制度の重要性を説明し、啓発を行うとともに、年金に関する相談や助言を行っている地域型年金委員に対し連絡会を開催し、情報の共有や委員相互の交流を図りました。また、11月には、県内合同連絡会（研修会）を開催することができました。

事務所	連絡会		研 修		合 計		年間計画
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数
山 形	3回	39名	1回	29名	4回	68名	6回
鶴 岡	2回	10名	—	—	2回	10名	5回
米 沢	3回	11名	3回	10名	6回	21名	5回
新 庄	3回	9名	1回	—	4回	9名	5回
寒河江	3回	12名	1回	—	4回	12名	5回
元年度末 合計	14回	81名	6回	39名	20回	120名	26回
(参考) 30年度末 合計	12回	91名	5回	28名	17回	119名	25回

注 研修は、合同開催のため各事務所に回数を登録しましたが、参加者数は山形に一括計上しました。

(5) 市町村担当者向け情報誌「かけはし」の活用

県内市町村に対し2カ月に1回発行の定期的情報誌として提供しています。内容は、障害年金講座や国民年金保険料免除申請書等各種申請書類受付事務にかかる留意点等を掲載し、充実した内容になっています。

(6) 報道機関との連携状況

山形県政記者クラブを通して、各報道機関に対し、7月に「地域年金事業運営調整会議の開催」、11月には「年金委員・健康保険委員表彰伝達式の開催」や「ねんきん月間の取組み」「第11回山形県年金ポスターコンクール審査結果」等の周知を行いました。

(7) 地域連携事業の取組結果

取組結果

・年金制度説明会は、関係機関(団体)との連携により、元年度計画実施数50回に対し49回実施と計画通りの結果となりました。今後も、これまでの取り組みを基本として、より多くの方々に年金制度を理解していただくために、引き続き、関係機関(団体)等へアプローチをしていきます。

・市町村担当職員研修・打合せ等は、元年度計画には及びませんでした。引き続き、必要な打合せや、担当職員のニーズに合った研修を実施していきます。

・地域型年金委員連絡会は、四半期に1回の年間計画には及びませんでした。11月に開催した県内合同連絡会(研修会)では、地域を超えた年金委員の交流が図られ大変良い機会となりました。今後も、年金委員の意見要望を積極的に取り入れ連携を図ります。

2 年金セミナー事業

(1) 教育機関別年金セミナーのアプローチ状況

次世代の主役となる若年層から、年金制度の仕組みや必要性について理解を深めていただき、納付意識の向上や年金受給権の確保に結び付けるために、年金セミナー事業を推進してきました。今年度も、県教育委員会各部署（教育長）を訪問し事業の趣旨説明を行いご理解をいただきました。また、県内の高等学校・大学等101校に対して、年金セミナーの開催について文書で依頼しました。元学校長の方々に委嘱している地域年金推進員（元年度末現在、山形1名、米沢1名）と、各年金事務所担当者において、年金セミナーの実施に向けたアプローチを行ってきました。

事務所	大学・短大		専門学校		高等学校		合計		
	対象校数	勧奨数	対象校数	勧奨数	対象校数	勧奨数	対象校数	勧奨数	実施率
山 形	8校	4校	15校	13校	18校	30校	41校	47校	114.6%
鶴 岡	3校	3校	4校	6校	17校	40校	24校	49校	204.1%
米 沢	3校	3校	1校	1校	15校	24校	19校	28校	147.3%
新 庄	—	—	3校	4校	8校	13校	11校	17校	154.5%
寒河江	—	—	—	—	6校	5校	6校	5校	83.3%
元年度末 合計	14校	10校	23校	24校	64校	112校	101校	146校	144.6%
(参考) 30年度末 合計	14校	18校	24校	41校	63校	111校	101校	170校	168.3%

(2) 教育機関別の年金セミナー実施状況

コロナウイルス感染拡大の影響により、3月の取組みが出来ない中でありましたが、昨年同等の実施結果となりました。これまでの取組みを基本に継続し取組んできた成果の結果として表れました。引き続き、早い時期のアプローチから、早い時期の実施と、年間を通した期間の中で実施校を増やします。

「税務署とのコラボ開催」については、定着化されている寒河江年金事務所のための開催となりました。他事務所においても、コラボ開催を念頭に置き対応していきます。

地域年金推進員は、年金セミナーの講師（他事務所を支援）を務めるとともに、若手職員のプレゼン能力の育成を図ってきました。

事務所	大学・短大			専門学校			高等学校			合計			年間計画
	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	回数
山形	8校	0校	0名	15校	6校	262名	18校	4校	870名	41校	10校	1132名	13回
鶴岡	3校	3校	311名	4校	1校	31名	17校	7校	605名	24校	11校	947名	13回
米沢	3校	2校	885名	1校	1校	38名	15校	13校	900名	19校	16校	1823名	14回
新庄	—	—	—	3校	1校	17名	8校	1校	74名	11校	2校	91名	7回
寒河江	—	—	—	—	—	—	6校	4校	471名	6校	4校	471名	3回
元年度末合計	14校	5校	1196名	23校	9校	348名	64校	29校	2920名	101校	43校	4,464名	50回
(参考) 30年度末合計	14校	6校	756名	23校	13校	376名	64校	29校	3023名	101校	48校	4,155名	50回

(3) 年金セミナー事業の取組結果

取組結果

・令和2年3月は、コロナウイルス感染拡大の影響により、対面でのアプローチ、セミナーの開催が困難な状況となりましたが、昨年度同等の実施結果となりました。

これまでの継続したアプローチの取り組みが最も重要であり、その成果として表されています。今後の課題として、取り組みの中心である、地域年金推進員の配置が1名不足(3名枠に対して2名配置)していることが挙げられます。地域年金推進委員の安定した配置ができるよう、引き続き県関係機関や上部機関に対して要請等取り組んでいきます

例年、年間実施件数の70%以上が12月以降の実施となっているため、引き続き、次年度の実施を見据えたアプローチ内容として、年度前半での実施についても検討していただくよう要請していきます。また、未開催の高等学校については、粘り強くアプローチを継続していきます。

中学校での実施については、年金ポスターコンクールへの応募校を中心に一部中学校に勧奨を行ってきましたが、実施できていません。引き続き、実施方法等について検討します。

3 地域相談事業

(1) 年金事務所以外での出張年金相談の実施状況

年金事務所に出向くことが難しいお客様の利便性向上を図るため、出張年金相談を実施しています。

年金相談の周知・広報については、「日本年金機構からのお知らせ」に記事を掲載するとともに、市町村広報誌においても記事掲載の協力を得て実施しています。

事務所	年間計画	実施場所	実施計画日/回数	合計	相談者数
山形	14回	山形市役所	6月以降 / 1回 (第4木曜日) ※4月、5月は月2回実施	14回	75名
鶴岡	0回			0回	0名
米沢	4回	長井市役所	4月・7月・10月・1月に各1回	4回	35名
	4回	小国町役場	5月・8月・11月・2月に各1回	4回	32名
	4回	白鷹町中央公民館	6月・9月・12月・3月に各1回	4回	28名
新庄	12回	尾花沢市役所	毎月 / 1回 (第3水曜日)	12回	56名
	12回	大石田町役場	毎月 / 1回 (第2木曜日)	12回	56名
寒河江	1回	東根市役所	10月10日 (随時)	1回	2名
元年度末 合計	51回			51回	284名
(参考) 30年度末 合計	84回			79回	383名

(2) ハローワークにおける離職者を対象とした説明会での年金制度説明会実施状況

県内ハローワークにおける説明会の中で、離職者に対する国民年金の手続きの周知を図り、国民年金保険料免除制度についての説明や相談を実施しました。

開催事務所・場所	年間計画	回数	参加人数
山形（ハローワーク山形）	24回	25回	3,644人
鶴岡（ハローワーク鶴岡・酒田）	110回	102回	2,774人
米沢（ハローワーク米沢）	55回	51回	1,660人
新庄（ハローワーク新庄）	26回	29回	699人
寒河江（ハローワーク寒河江・村山）	100回	90回	1,675人
元年度末合計	315回	297回	10,452人
（参考）30年度末合計	269回	303回	10,152人

(3) その他の出張年金相談等の実施状況

①行政監視行政相談センターの「合同行政相談所」における年金相談会の実施

山形行政監視行政相談センター主催の合同行政相談所に職員を派遣し、出張年金相談を行いました。

事務所	開催場所	開催日	相談者数	対象地区
山 形	山形市役所	10月16日	1名	山形地区
新庄	最上広域交流センター ゆめりあ	10月8日	1名	新庄地区
寒河江	寒河江市ハートフル センター	7月23日	1名	寒河江 村山地区
合計（昨年度）		3回（3回）	3名（5名）	

②商業施設等における出張年金相談の実施

昨年、県内で初めて実施することができた大型商業施設を利用した年金相談会（11月の「ねんきん月間」及び11月30日「年金の日」の取組）の継続した取り組みとして、今年度は6月に前倒し実施することができました。

イオンモール天童において、イベント案内掲示や館内放送について協力していただきました。

事務所	開催場所	開催日	相談者数	チラシ配布
山 形	イオンモール天童 1階センターコート	6月20日	23名	253部



イオンモール天童1階センターコートでの
年金相談の様子

③イベント共催による年金相談の実施

令和元年11月6日、山形公共職業安定所主催の『福祉のしごとフェア2019』がビックウイングで開催され、昨年度に引き続き職員を派遣し、6名の相談がありました。

令和元11月11日、人財育成推進・確保対策協議会主催（新庄地区）の『きて・みて・きいて就職面談会』がニューグランドホテル新庄で開催され、職員を派遣し、納付相談・制度説明会を実施しました。

令和2年2月13日、山形市福祉事務所主催の生活困窮者や生活保護者を対象とした研修会に職員を派遣し年金制度について説明しました。（会場：観光文化交流センター山形まなび館、受講者：13名、研修テーマ：年金に関する基礎知識）

(4) 地域相談事業の取組結果

取組結果

・市町村での出張年金相談は、年間計画に基づき開催しております。引き続き、市町村と連携を図り、お客様のニーズを把握するとともに、予約枠を有効に活用し利便性を確保していきます。

・ハローワークにおける説明会での、国民年金手続き等年金制度説明会については、県内はハローワークの協力をいただき、昨年を上回る参加者に直接周知することができました。引き続き協力をいただき継続することが重要です。

・合同行政相談については、職員を派遣し年金相談を実施することができました。引き続き積極的に対応していきます。

・商業施設等での年金相談会の開催については、昨年に続き山形年金事務所がイオンモール天童において開催することができました。今後も、開催の継続と会場の拡大を課題とし、県民が年金を身近に感じてもらう機会を増やすため、引き続き実施していきます。

4 年金委員活動支援事業

(1) 年金委員への情報提供

実施年月	対象年金委員	内 容
6月	地域型	・広報誌「支えあい～年金委員だより」の送付
10月	地域型	・広報誌「支えあい～年金委員だより」の送付
		・「地域型年金委員活動の手引き」の送付
		・ねんきん月間、年金の日、予約相談のリーフレット及び「ねんきんネット」アクセスキー登録申込書の配布（連絡会）
	職域型	・ねんきん月間についてのリーフレット・ポスターの送付
	職域型・地域型	・「年金生活者支援給付金」制度周知のリーフレット・ポスターの送付
11月	地域型	・障害年金ガイドのパンフレット配布（県内合同研修会）
12月	地域型	・「日本年金機構アニュアルレポート2018」の送付（県内93名分）
2月	地域型	・広報誌「支えあい～年金委員だより」の送付

(2) 職域型年金委員研修会の実施状況

県内社会保険委員会及び各支部が主催する研修会に、積極的に講師として職員を派遣し、年金生活者支援給付金制度等法改正や在職老齢年金の仕組み、社会保険事務手続き等説明しました。また、各種役員会、研修会、意見交換会等を通じて年金委員活動の支援を行ってきました。

令和元年度全国年金委員研修会には、寒河江年金事務所管轄年金委員（職域型）よりご参加いただきました。

事務所	回数	受講者数	支援回数	合計	年間計画
山形	4回	204名	6回	10回	13回
鶴岡	1回	102名	3回	4回	5回
米沢	7回	198名	1回	8回	10回
新庄	1回	25名	7回	8回	6回
寒河江	3回	141名	4回	7回	5回
元年度末合計	16回	670名	21回	37回	39回
(参考) 30年度末合計	21回	926名	13回	33回	31回

(3) 年金委員委嘱拡大の取り組み

職域型については、全国健康保険協会山形支部と協力し実施している新規適用事業所に対する依頼文書の送付を基本に取り組んできました。また、各事務所管内各種役員会等において、引き続き要請をしています。また、退職等により解職の連絡が入った際は、全ての後任者の選出をお願いしてきました。

各事務所独自の取り組みとして、米沢年金事務所では、米沢商工会議所会報10月号に掲載をしていただきました。寒河江年金事務所では、7月に、健康保険委員の届はあるものの年金委員の届はない19事業所に対し文書勧奨したところ1件の申し出をいただきました。

地域型については、退職する職域型年金委員へ、地域型への移行をご案内を必須としてきました。厳しい状況ですが引き続き対応します。令和2年2月、山形年金事務所（県代表）において、山形県社会保険協会及び山形県年金協会連合会へ直接出向き、委嘱拡大に向けた要請を行いました。また、県内市町村及び山形県社会保険労務士会には、継続し連携協力の依頼を行います。

(4) 年金委員委嘱者数の推移

事務所	平成30年度末 (A)			令和元年度 (B)			増減 (B) - (A)		
	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計
山 形	588	46	634	597	46	643	9	0	9
鶴 岡	414	15	429	403	14	417	▲11	▲1	▲12
米 沢	407	14	421	408	15	423	1	1	2
新 庄	135	5	140	137	7	144	2	2	4
寒河江	241	13	254	244	12	256	3	▲1	2
県内計	1,785	93	1,878	1,789	94	1,883	4	1	5
事業所数 (委嘱率)	19,160 (9.32%)	—		19,384 (9.23%)	—				

(5) 年金委員の功労者表彰伝達式の実施

全国健康保険協会山形支部、山形県社会保険委員会連合会、山形県社会保険協会との共催により、多年にわたり年金事業の推進及び発展に貢献された年金委員の方々に表彰状が伝達されました。併せて山形県社会保険委員会連合会役員研修会が開催されました。

【開催日】 令和元年11月20日(水)

【開催場所】 山形グランドホテル

【受賞者】	厚生労働大臣表彰	1名
	日本年金機構理事長表彰	4名
	日本年金機構理事表彰	13名

※健康保険委員からは厚生労働大臣表彰1名、全国健康保険協会理事長表彰4名、全国健康保険協会山形支部長表彰11名が受賞されました。



表彰伝達式における委員研修会の様子



表彰伝達式の様子

(6) 年金委員活動支援事業の取組結果

取組結果

・職域型年金委員で組織されている社会保険委員会が主催する研修会等に、講師を派遣し支援を行ってきました。課題としていた年金事務所が主催する研修会については、コロナウイルス感染拡大の影響により中止しましたが、引き続き、全国健康保険協会山形支部と協力し実施していくことで、企業において、制度周知が図られるよう取り組みます。

情報提供としては、研修会等でのチラシやリーフレット配布や、全委員への郵送する等、機構が取り組む事業の周知と事業への協力要請を行いました。

・文書勧奨を中心に委嘱拡大を図ってきました。元年度末現在、県内の年金委員総数は、前年度末委員数を維持している現状です。

事業所数に対する職域型年金委員数の割合（委嘱率）は、30年度末9.32%に対し、元年度末9.23%と減少しております。引き続き、事業主に対し全国健康保険協会山形支部と共同で文書勧奨を実施していくとともに、関係団体の会報等への掲載を依頼しながら委嘱拡大を進めていきます。なお、健康保険委員のみ設置の事業所に対しても同様に取り組んでいきます。

また、地域型年金委員数につきましても維持しておりますが、更新を希望されない高齢者の方が多いこともあり、新たな委嘱拡大が重要課題となります。委嘱要請を行った、山形県社会保険協会や山形県年金協会連合会をはじめ、山形県社会保険労務士会等、関係団体からの委嘱拡大に期待します。また、委員活動を支援するため、ご意見やご要望をお聞きする機会である、連絡会や研修会の充実を図っていきます。

5 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

日本年金機構は、厚生労働省と協力して11月を「ねんきん月間」、11月30日(いいみらい)を「年金の日」と位置付け、県民の皆様に年金制度を理解していただけるよう、積極的に公的年金制度の周知や啓発活動を行いました。

事務所	取組結果	
山形県内 全年金事務所	令和元年度 年金委員・健康保険委員功労者表彰伝達式及び山形県社会保険委員会連合会役員研修会	ねんきん月間
	各地区社会保険委員会役員会(研修会)、年金委員連絡会(研修会)	
	年金相談窓口の開設(年金事務所内)	年金の日
	国民年金保険料納付相談会(年金事務所内)	年金の日
	令和元年度「山形県社会保険協会 社会保険事務講習会」	
	ハローワークにおいて離職者を対象とした説明会	通常事業
	高校・大学等へ年金セミナー実施のアプローチ及び年金セミナー	
山形・米沢・新庄	出張年金相談	
山形年金事務所	福祉のしごとフェア2019(共催)	ねんきん月間
	山形県職員退職者会山形支部研修会	
寒河江年金事務所	東根市さくらばタントクルセンターにおいて国民年金保険料納付相談会	
新庄年金事務所	きて・みて・きいて就職面談会において納付相談・制度説明会	

6 「わたしと年金」エッセイ

国民の皆様に年金制度に対する理解を深めていただくため、中学生以上を対象に公的年金をテーマとしたエッセイの募集を行いました。

周知・広報については、教育機関、関係機関（団体）にポスターやリーフレットの設置のご協力をいただいたほか、年金セミナーの実施とあわせて依頼しました。

【募集期間】 令和元年6月3日～令和元年9月13日

【賞】 厚生労働大臣賞、日本年金機構理事長賞ほか

【応募状況】 応募総数1184件のうち、山形県の応募件数0件



「わたしと年金」エッセイポスター

7 第11回山形県年金ポスターコンクール

東北厚生局をはじめ、山形県社会保険協会等7団体に後援をいただき、県内の中学生を対象として、年金制度に親しんでいただくため、年金をテーマとしたポスターを作成していただきました。

【募集期間】 令和元年6月10日～令和元年9月20日

【賞】 最優秀賞1点、優秀賞5点、入選5点

東北厚生局長賞1点、山形県社会保険協会会長賞1点

【応募状況】 応募校16校、総数56件（昨年度15校、64件）

入賞者には、各年金事務所で中学校を訪問し表彰を行いました。



中学校での表彰式の様子

8 山形県地域年金事業運営調整会議

第15回会議(令和2年1月29日開催)にかかる主なご意見と対応状況

事業種類	ご意見	対応状況
地域連携事業	【全国健康保険協会山形支部と連携】 協会は健保委員、機構は年金委員を委嘱し、活動しています。これまでも連携して研修会等を行ってきましたので今後もお願いします。県内での研修資料を統一していただくと進めやすいので検討をお願いします。	・引き続き、連携して参りたい。研修資料の統一化については、未だ検討中です。数年をスパンとしたカリキュラムや、他地区でも参加できるような、平準化を進めていきたいと考えています。
	【山形県社会保険協会との連携】 社会保険協会主催の説明会に13回の協力ありがとうございます。資料のP2について、自治会や事業所等を対象としたというのはとても良いと思う。当協会のネットワークを使い、周知等を積極的に支援したいと考えているのでぜひ進めてほしい。	

事業種類	ご意見	対応状況
年金セミナー事業	【早期のアプローチ】 年金セミナーが行われる時期は忙しい時期となっている。1月から2月にかけて次年度の年間行事予定が確定していくので早期のアプローチが必要。老齢年金のみならず遺族年金・障害年金など生活していくうえで非常に大事なものとなるので関連する教科で連携できれば良いのではと考えます。 【主権者教育に向けた取り組み】 学習指導要領の切り替え時期となっていて、令和4年度から始まるが、その中でクローズアップされているのが主権者教育である。18歳で政治に参加するための意識や知識を持たせなければならないということが強調されている。現在は3年生が自由登校となった際に社会人としての常識を身に付けさせることを主眼としている。セミナーもそれに沿って行っていただくということであった。対して、これからは主権者としての意識を持ってもらうためのセミナーを行っていただくという機会が増えると思われる。3年生の自由登校になってからということではなくて、早い時期からの取り組みが必要。教科でいえば公民。今後需要が高まることが予想されるので積極的な取り組みを願いたい。	・2月3月等実施時期に引き続き次年度のアプローチを行います。 ・山形職業能力開発専門学校については、次年度の予約として、4/8実施予定となっていたが、コロナ感染拡大防止の対応として中止しています。 ・学習指導要領切り替え、令和4年度から始まる主権者教育（公民）に向けた積極的な取り組み（訪問アプローチの際に令和4年度に向けたアプローチをしております。） ・本部へ提供し、全国での展開と、日本年金機構として政治的参画で進められる方向へもっていきます。

事業種類	ご意見	対応状況
年金セミナー事業	【学校行事でのアプローチ】 授業のみならず、学校行事でのPRについても考えたほうが良いのではないか。 【学生との意見交換】 年金の動画で優勝した学生と意見交換をしてみてもどうか。 【ポスターコンクールの取組みでの年金セミナーのアプローチ】 ポスターコンクールについても、事前に内容説明するなどすれば良いのではないか。 今回のポスターコンクールを見ると、「年金ってなに？」とか「本当にもらえるの？年金」などがあって驚いている。理解を深めてもらって依頼したほうが良いのではないか。 【1, 2年生を対象にしたアプローチ】 受験生の3年生を対象にするのは難しいと思われるので、1, 2年生を対象としてはどうか。	・年金教育に積極的な、東北公益文化大学を対象とし、鶴岡年金事務所を窓口に、大学側と協議します。 ・年金教育に積極的な、東北公益文化大学を対象とし、鶴岡年金事務所を窓口に、大学側と協議します。 ・夏休み前の授業でのセミナー実施、生徒との意見交換などできないか、対象校含め検討中です。 ・全校に中学生用セミナー資料等送付し、先生から説明してもらうことも、対象校含め検討中です。 ・訪問・電話アプローチで対応中です。

事業種類	ご意見	対応状況
地域相談事業	【予約相談と出張相談】	
	山形市における出張相談については次年度より廃止となる。また、電話がなかなかつながらない。近い日に相談予約が取れないなどの話を聞くので、こうした声を機会があれば上部に伝えてほしい。	・予約専用電話の拡大等、引き続き本部に伝えて参ります。相談体制の在り方については、事務所での予約相談を基本として、充実を図り進めていきます（相談職員のスキルアップ、労務士会との協力、予約時間の工夫）。出張相談は、ニーズの共有化を図り検討していきます（市町村、商業施設）。年金ネットの充実化も同時に進めていきます。
	【商業施設での出張相談】	
	外で相談する際に、お客様から事前に予約を受け付けて準備をしたうえで行っているのか。	・商業施設等での実施については、広いお客様層を対象としている年金相談や制度普及を目的としており、請求書の受付や手続きを目的としておりませんので予約制では実施していません。
	【公民館等他イベントとのコラボ開催】	
	以前、相談は公民館で行っていて込み合っていた。検診もバスが来てものすごく混んでいた。そういう人のたくさんいるところで年金教育をしてはどうか。	・市町村との協力連携が不可欠と考えています。情報を収集することから始めます。国民年金課と市町村国民年金係との繋がりから展開できないか検討します。産業まつりでの、相談窓口等（年金アピール）は、効果的であると思われるため、チラシ配布のみも含めて検討します。

9 ねんきんネットの利用促進

「ねんきんネット」は、年金記録の確認、将来の年金見込額の試算、電子版「ねんきん定期便」の閲覧、各種通知書の確認や再交付申請に対応しており、年々機能も充実しています。また、24時間利用可能となっています。

年金事務所では、「ねんきんネット」の利用促進を図るため、ポスター掲示やチラシの設置・配布を行い多くの方々に利用していただけるようご案内しています。

利用するためには、「ねんきんネットID」が必要となりますが、アクセスキーがあれば、速やかに「ねんきんネットID」を取得することができます。

手続きの利便性を高めるため、年金事務所では利用を希望されたお客様にはアクセスキーを即日発行しています。